



福島県内経済情勢報告

令和 7 年 7 月

財務省東北財務局
福島財務事務所

目 次

ページ

1. 総 論	1
2. 個 人 消 費	2
3. 生 産 活 動	4
4. 雇 用 情 勢	5
5. 設 備 投 資	6
6. 企 業 収 益	6
7. 企業の景況感	7
8. 住 宅 建 設	8
9. そ の 他 項 目	9

*各グラフの下部に記載している計数は、当該項目の状況を分析する上で参考とした期間にかかる前年比、指数、倍率です。

*掲載されている計数については、年間補正等により改訂されることがありますので、計数をご利用される場合には、公表元の最新の資料をご確認ください。

1. 総論

【総括判断】 「横ばいの状況にある」

項 目	前回 (7年4月判断)	今回 (7年7月判断)	前回 比較
総括判断	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	➡

(注) 7年7月判断は、前回7年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を下回るなど、足踏みの状況にある。生産活動は、汎用・生産用・業務用機械で新製品の受注が好調となるなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回 (7年4月判断)	今回 (7年7月判断)	前回 比較
個人消費	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	➡
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	➡
雇用情勢	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡

設備投資	6年度は増加見込み	7年度は増加見込み	➡
企業収益	6年度は増益見込み	7年度は増益見込み	➡
企業の 景況感	「下降」超幅が拡大	「下降」超幅が縮小	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
公共事業	前年度を下回っている	前年度を上回っている	↗

【先行き】

先行きについては、雇用環境の改善や各種政策の効果もあって、景気が持ち直しに向かうことが期待される。ただし、米国関税措置をはじめとする海外経済の動向、物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。

2. 個人消費 … 足踏みの状況にある



- (1) 百貨店・スーパー販売額は、飲食料品等で節約志向の影響がみられているほか、衣料品等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (2) コンビニエンスストア販売額は、米飯等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (3) ドラッグストア販売額は、飲食料品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (4) ホームセンター販売額は、日用品等が低調となっていることから、前年を下回っている。
- (5) 家電大型専門店販売額は、洗濯機等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、一部自動車メーカーの出荷停止の反動により、前年を上回っている。
- (7) 旅行は、国内旅行が好調となっていることなどから、持ち直している。

～ 〈参考〉 個人消費に関する地域の声 ～

○消費者の節約志向は根強く、高価な衣料品や家庭用品は低調となっている。

○牛肉から豚肉や鶏肉へのシフトが引き続きみられるほか、割安感のある大容量の商品がよく売れている。

(百貨店・スーパー)

○米飯は、お得感のある商品の強化など販売促進の効果により、好調となっている。

○酒類やたばこの売上げは前年を下回っており、物価高により購入を控える様子がみられる。

(コンビニエンスストア)

○飲食料品は、価格を抑えた販売により好調となっており、足下ではパンや麺類の売上げが伸びている。

○日用品等の生活必需品に割引クーポンを利用するなど、日々の買い物での出費を抑える様子がみられる。

(ドラッグストア)

○日用品は、より安価な販売店で購入する様子がみられることから、低調となっている。

○昨年に比べて降水量が多かったことなどから、園芸用品や農業資材の動きが鈍くなっている。

(ホームセンター)

○洗濯機は、買い替え需要等により好調となっており、足下では気温の上昇によりエアコンの売上げが伸びている。

○物価高による節約志向等から買い替えサイクルが長期化している一方で、購入にあたっては高価格であっても性能の高い商品を選ぶ様子もみられる。

(家電)

○一部自動車メーカーの出荷停止の反動により、登録・届出台数が増加している。

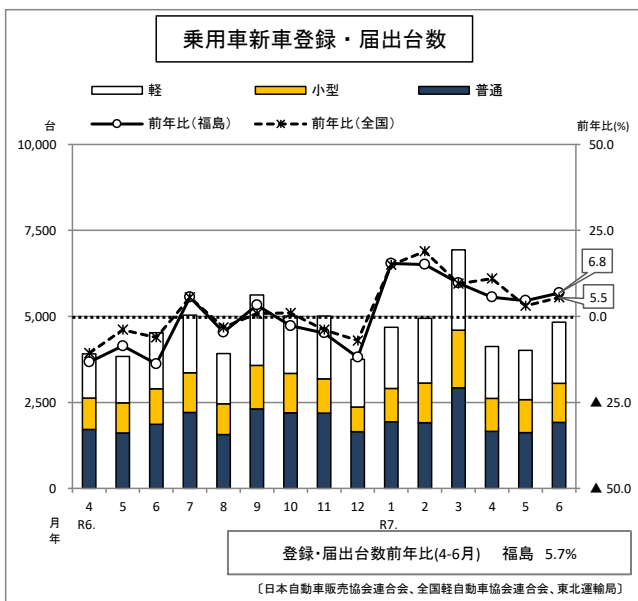
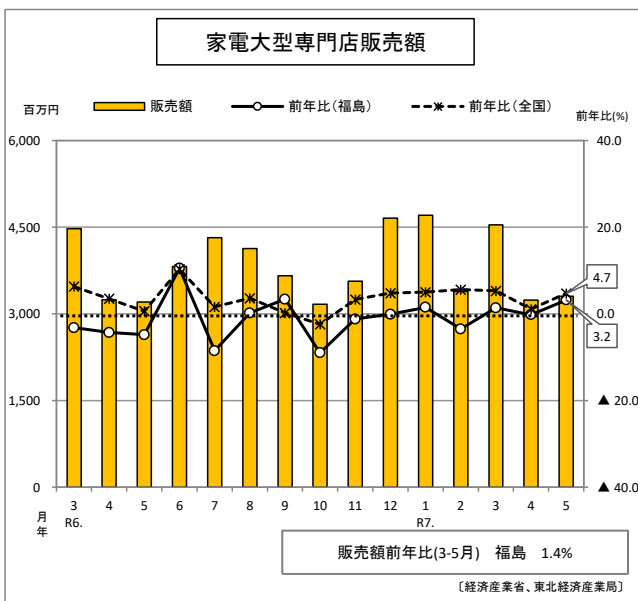
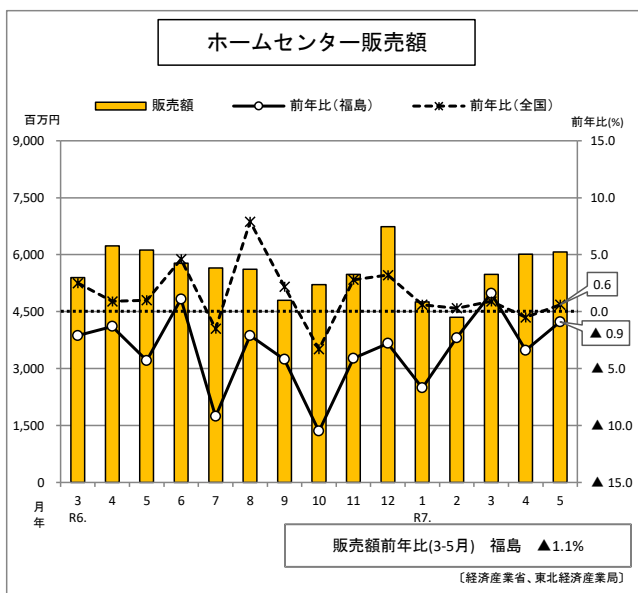
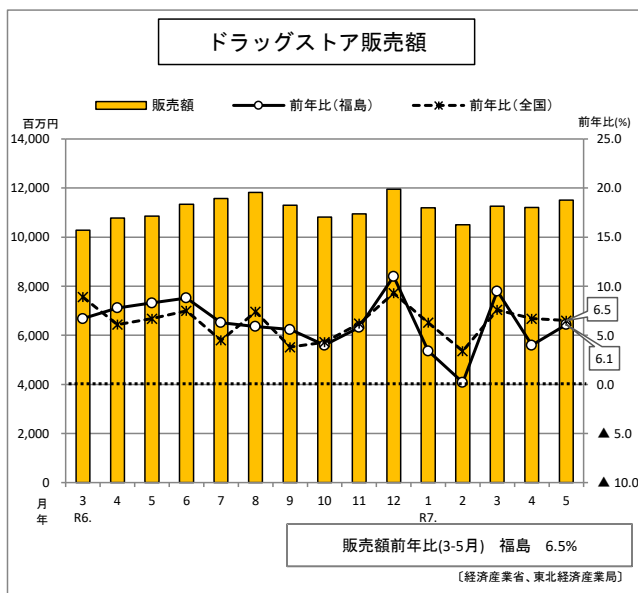
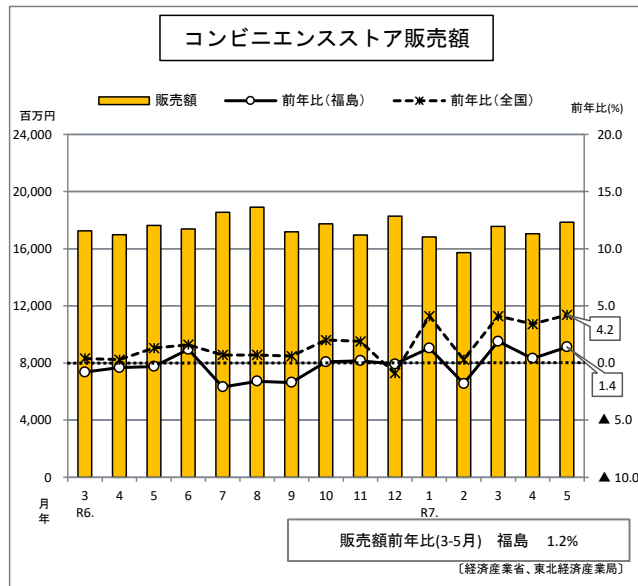
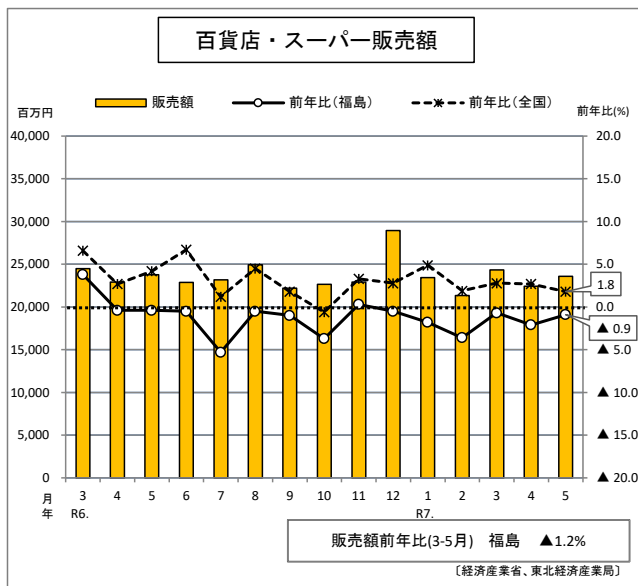
○自動車の需要は底堅いものの、販売価格の高騰からより安価な車種を検討する様子もみられる。

(自動車販売)

○国内旅行の意欲は引き続き高く、旅行代金が高騰しているなかでも旅行控えはみられない。

○万博関連の旅行需要がみられたほか、沖縄や九州等の遠方への旅行も増加している。

(旅行)



3. 生産活動 … 緩やかに持ち直しつつある



- (1) 化学は、EV(電気自動車)需要の低迷により、減少している。
- (2) 汎用・生産用・業務用機械は、新製品の受注が好調となっていることから、持ち直しつつある。
- (3) 電子部品・デバイスは、一部に在庫調整の進展がみられていることから、持ち直している。
- (4) 輸送機械は、海外経済減速等の影響がみられるものの、新型車向けが好調となっていることから、緩やかに回復している。

～ 〈参考〉 生産活動に関する地域の声 ～

○EV(電気自動車)向けは、需要の低迷が続いていることから、在庫調整を実施している。

(化学)

○新製品を中心に生産が増加しており、今後も堅調に推移する見通しとなっている。

○取引先が米国関税措置の影響を懸念して発注を様子見している。

(汎用・生産用・業務用機械)

○スマートフォンやパソコン向けは、取引先の在庫調整の進展により、今期は生産が増加している。

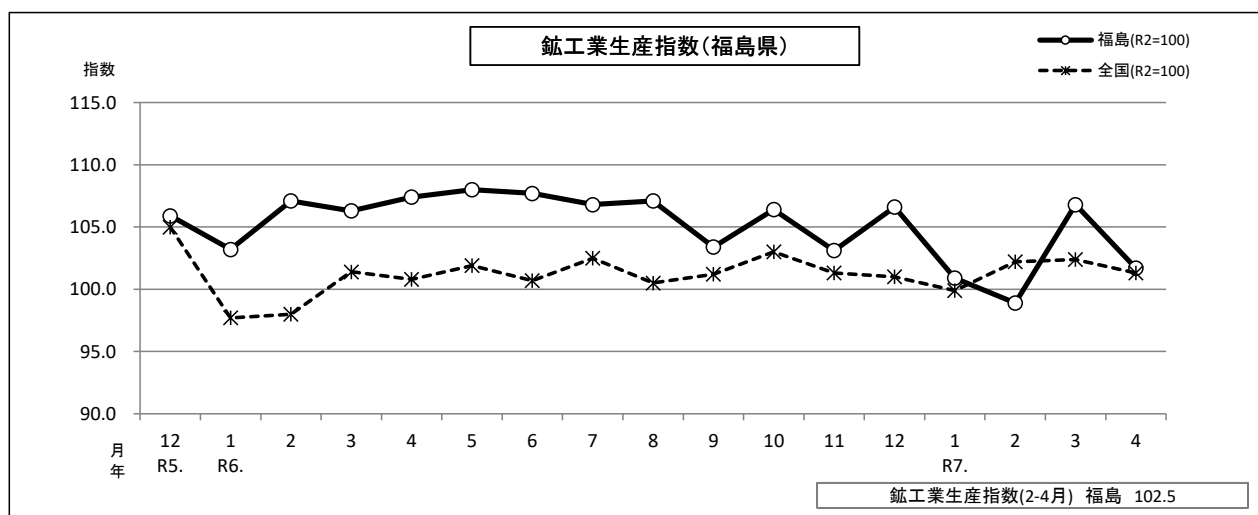
○海外向けについて、足下で生産が増加しているが、先行きは見通せない状況となっている。

(電子部品・デバイス)

○海外向けを中心に、新型車向けの受注が好調となっている。

○米国関税措置の影響を懸念した駆け込み需要により、受注が増加している。

(輸送機械)



鉱工業生産指数(福島県、季節調整済、R2=100)

区 分	総 合 (Wt=10,000)		化 学	汎用・生産用・ 業務用機械	電 子 部 品 ・ デ ヴ ィ ス	輸 送 機 械
	指 数	前 年 比 %	1,214.3	1,152.5	1,117.1	1,032.7
6 年	106.2	2.3	153.3	92.4	100.8	165.1
6. 4-6	107.7	—	159.1	92.7	101.8	173.5
7-9	105.8	—	151.8	93.8	103.6	170.9
10-12	105.4	—	157.2	95.5	98.1	163.2
7. 1-3	102.2	—	124.4	96.7	99.0	177.0
6. 11	103.1	5.7	153.6	94.2	98.8	157.1
12	106.6	2.6	161.2	97.3	93.5	173.1
7. 1	100.9	▲ 2.2	112.5	91.7	96.3	177.3
2	98.9	▲ 8.7	117.8	95.2	100.3	163.1
3	106.8	▲ 0.4	142.8	103.3	100.3	190.5
4	101.7	▲ 5.3	119.2	87.0	105.3	190.3
6. 11-7. 1	103.5	—	142.4	94.4	96.2	169.2
7. 2-4	102.5	—	126.6	95.2	102.0	181.3

(注) 1. 前年比は原指数。

[福島県]

2. 最終月は速報値。

3. 6年分は年間補正後。

4. 6. 11-7. 1、7. 2-4は今回の分析上参考とした期間。

4. 雇用情勢 … 一部に弱さが見られるものの、緩やかに持ち直している



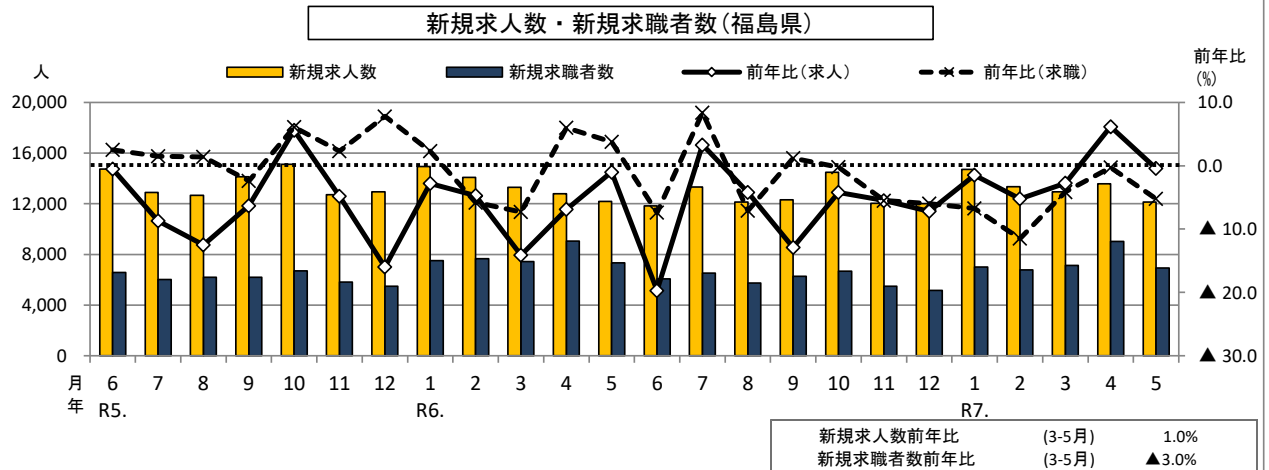
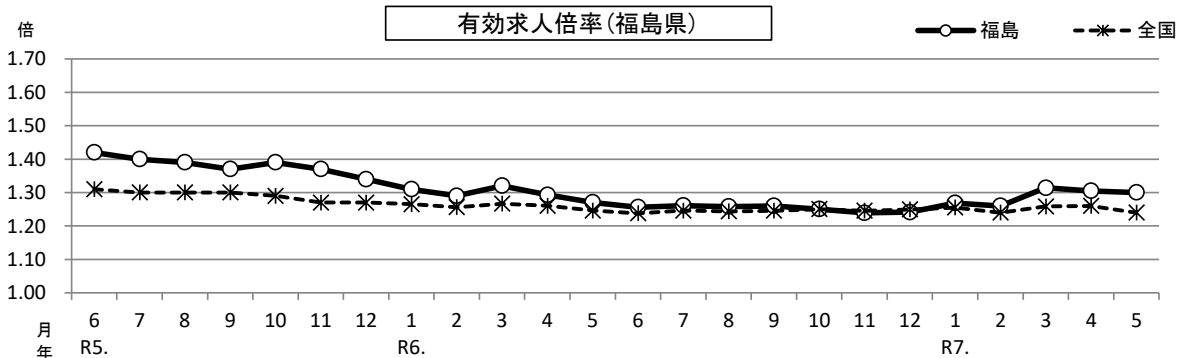
- (1) 有効求人倍率は、上昇している。
- (2) 新規求人数は、建設業等で増加していることから、前年を上回っている。
- (3) 新規求職者数は、前年を下回っている。
- (4) 事業主都合離職者数は、前年を下回っている。
- (5) 雇用保険受給者実人員は、前年を下回っている。

～ 〈参考〉 ～

○確実に人材を確保するために、一部に給与などの待遇を見直しのうえ、求人を出す動きがみられる。 (公的機関)

○業務量は増加しているが、人手が不足していることにより、受注を慎重に行っている。 (製造業)

○採用してもすぐに退職する人が多く、補充が追いつかないことから、既存社員の繁忙感が強い。 (非製造業)



雇用状況(福島県)

区分	有効求人倍率 (季節調整済) 倍	新規求人数		新規求職者数		事業主都合 離職者数		雇用保険 受給者実人員	
		人	前年比 %	人	前年比 %	人	前年比 %	人	前年比 %
6 年	1.27	12,951	▲ 6.9	6,745	▲ 1.4	6,088	9.8	6,257	3.8
6. 4-6	1.27	12,271	▲ 9.8	7,487	1.3	2,134	5.3	6,264	5.9
7-9	1.26	12,585	▲ 4.9	6,177	0.8	1,359	34.0	6,960	4.8
10-12	1.24	12,839	▲ 5.5	5,783	▲ 3.7	1,205	▲ 12.4	6,178	1.6
7. 1-3	1.28	13,670	▲ 3.1	6,967	▲ 7.5	1,107	▲ 20.4	5,487	▲ 2.5
6. 12	1.24	12,010	▲ 7.2	5,171	▲ 6.0	300	▲ 23.3	5,938	4.8
7. 1	1.27	14,726	▲ 1.5	6,998	▲ 6.7	350	▲ 18.2	5,821	0.9
2	1.26	13,347	▲ 5.2	6,780	▲ 11.5	347	▲ 8.0	5,439	▲ 3.9
3	1.31	12,937	▲ 2.7	7,122	▲ 4.1	410	▲ 29.9	5,201	▲ 4.6
4	1.30	13,585	6.2	9,039	▲ 0.3	1,122	▲ 14.4	5,301	▲ 8.9
5	1.30	12,139	▲ 0.4	6,941	▲ 5.2	375	▲ 24.1	5,877	▲ 8.7
7. 3-5	-	12,887	1.0	7,701	▲ 3.0	1,907	▲ 20.2	5,460	▲ 7.5

(注) 1. 新規求人数・新規求職者数は原数値。

[厚生労働省、福島労働局]

2. 雇用保険受給者実人員は基本手当(延長給付を除く)。

3. 6年12月以前の有効求人倍率は改定値。

4. 7. 3-5は今回の分析上参考とした期間。

5. 設備投資 … 7年度は増加見込み



法人企業景気予測調査(7年4-6月期調査)でみると、7年度は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

設備投資

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
7 年 度	(▲ 8.5)	79.4	(▲ 1.4)	5.9	(▲ 2.6)	30.6

(注)1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

2. () 書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(7年4-6月期調査)」〕

6. 企業収益 … 7年度は増益見込み



法人企業景気予測調査(7年4-6月期調査)でみると、7年度は、製造業、非製造業とも増益見込みとなっている。

経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
7 年 度	(▲ 30.3)	1.4	(▲ 4.7)	3.7	(▲ 8.4)	2.3

(注)1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数。

2. () 書きは前回調査結果。

〔福島財務事務所 「法人企業景気予測調査(7年4-6月期調査)」〕

7. 企業の景況感 … 現状は「下降」超幅が縮小

先行きは7年7～9月期に「下降」超幅が縮小し、
7年10～12月期に「上昇」超に転じる見通し



法人企業景況予測調査(7年4～6月期調査)の企業の景況判断BSIで見ると、現状(4～6月)は、全産業では「下降」超幅が縮小している。

先行きは、全産業では7年7～9月期に「下降」超幅が縮小し、7年10～12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

企業の景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

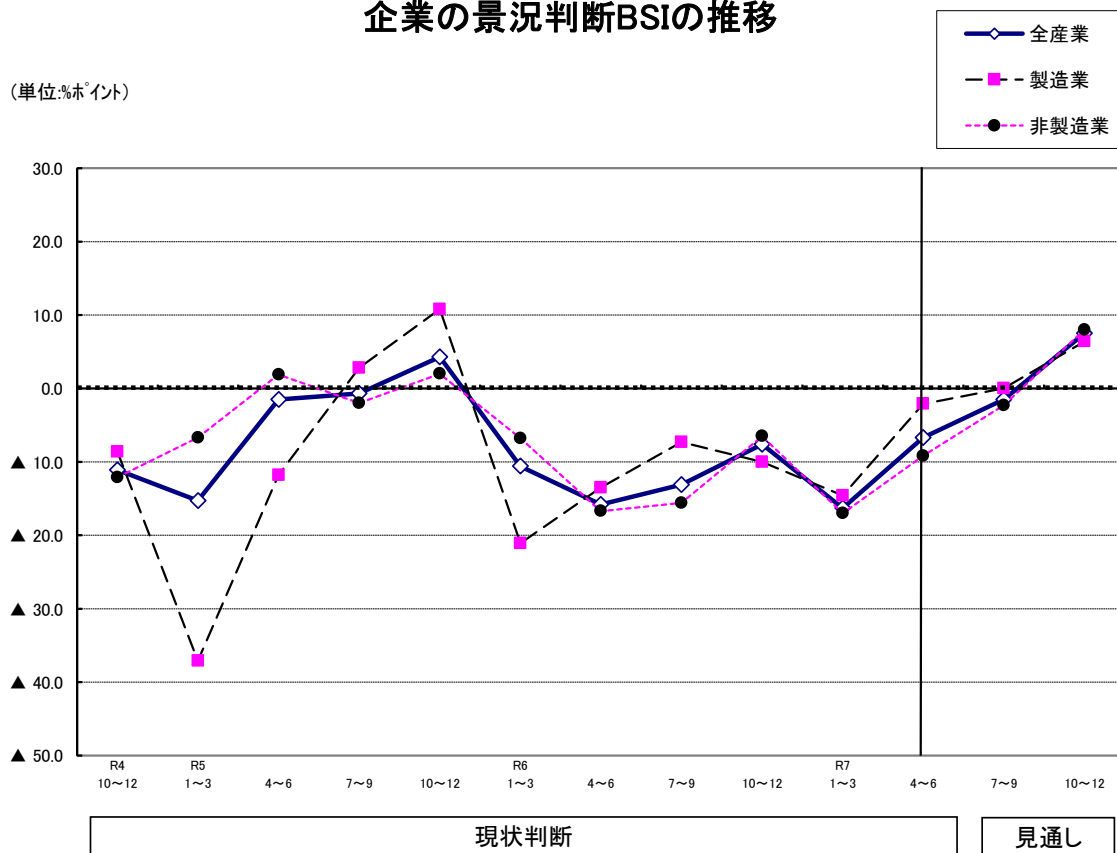
区 分	7年1～3月 (7年1～3月期調査)	7年4～6月 現 状 判 断	7年7～9月 見 通 し	7年10～12月 見 通 し
全 産 業	(▲ 16.3)	(▲ 11.9) ▲ 6.7	(▲ 4.4) ▲ 1.5	7.5
製 造 業	(▲ 14.6)	(▲ 17.1) ▲ 2.1	(0.0) 0.0	6.4
非 製 造 業	(▲ 17.0)	(▲ 9.6) ▲ 9.2	(▲ 6.4) ▲ 2.3	8.0

(注) () 書きは前回調査結果。

[福島財務事務所「法人企業景況予測調査(7年4～6月期調査)」]

企業の景況判断BSIの推移

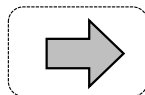
(単位:%ポイント)



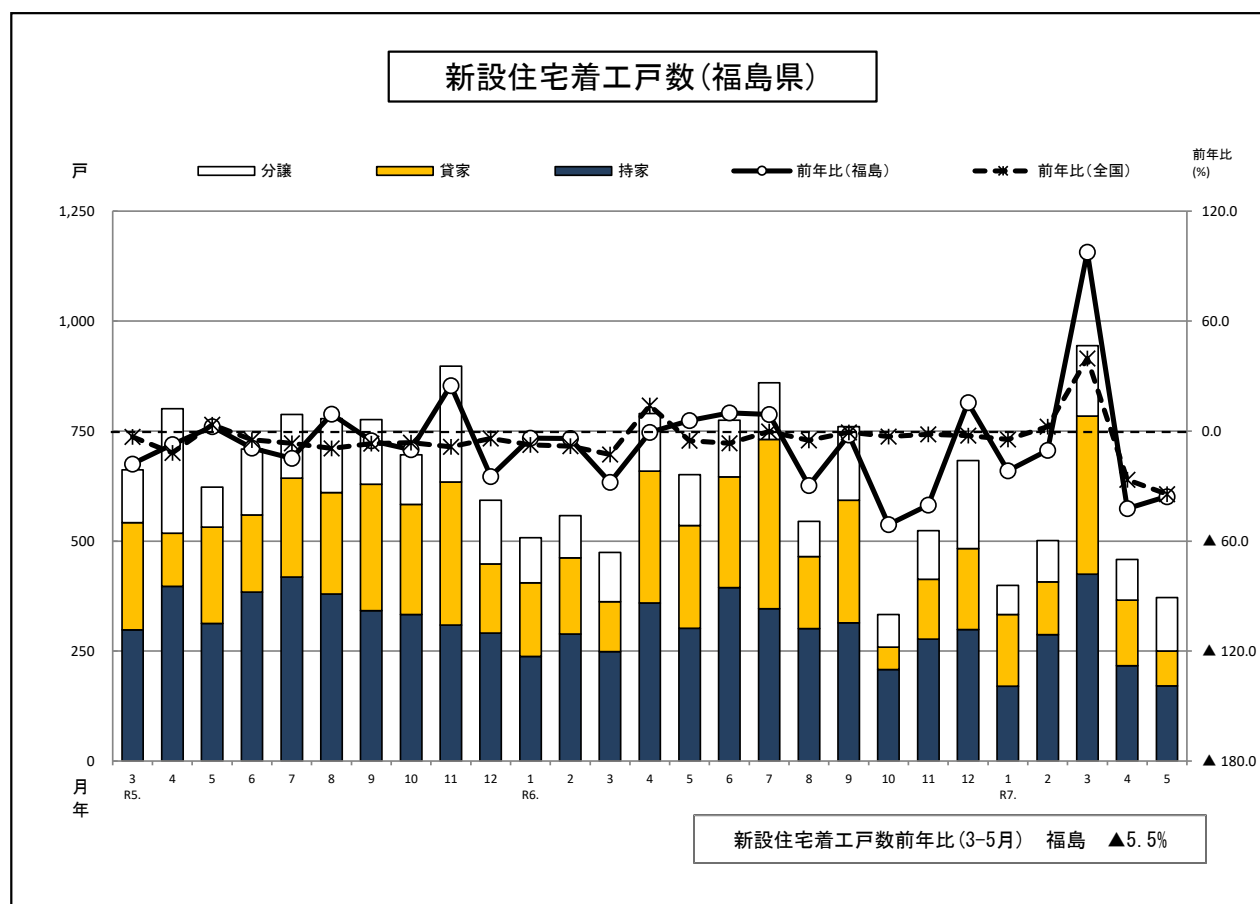
BSI (Business Survey Index) の計算法

*BSI=(「上昇」と回答した企業の構成比)-(「下降」と回答した企業の構成比)

8. 住宅建設 … 前年を下回っている



新設住宅着工戸数でみると、分譲が前年を上回っているものの、持家、貸家が前年を下回っていることから、全体としては、前年を下回っている。



新設住宅着工戸数(福島県)

新設住宅着工戸数(福島県)					
区 分	総戸数		持家	貸家	分譲
	戸	前年比%	前年比%		
6 年	7,517	▲ 11.0	▲ 12.5	▲ 2.0	▲ 22.0
6. 4-6	2,236	4.7	▲ 3.6	52.4	▲ 28.2
7-9	2,169	▲ 7.5	▲ 15.7	11.6	▲ 18.3
10-12	1,565	▲ 28.5	▲ 16.0	▲ 49.3	▲ 26.2
7. 1-3	1,846	19.3	▲ 13.7	41.7	2.9
6. 12	688	15.6	2.7	17.2	37.9
7. 1	400	▲ 21.6	▲ 28.6	▲ 2.4	▲ 35.9
2	501	▲ 10.4	▲ 0.7	▲ 30.6	▲ 2.1
3	945	97.7	70.7	217.7	42.9
4	459	▲ 42.3	▲ 39.6	▲ 50.3	▲ 29.8
5	425	▲ 35.7	▲ 43.4	▲ 66.1	5.2
7. 3-5	1,829	▲ 5.5	▲ 10.7	▲ 9.1	4.2

(注) 7. 3-5は今回の分析上参考とした期間。

〔国土交通省〕

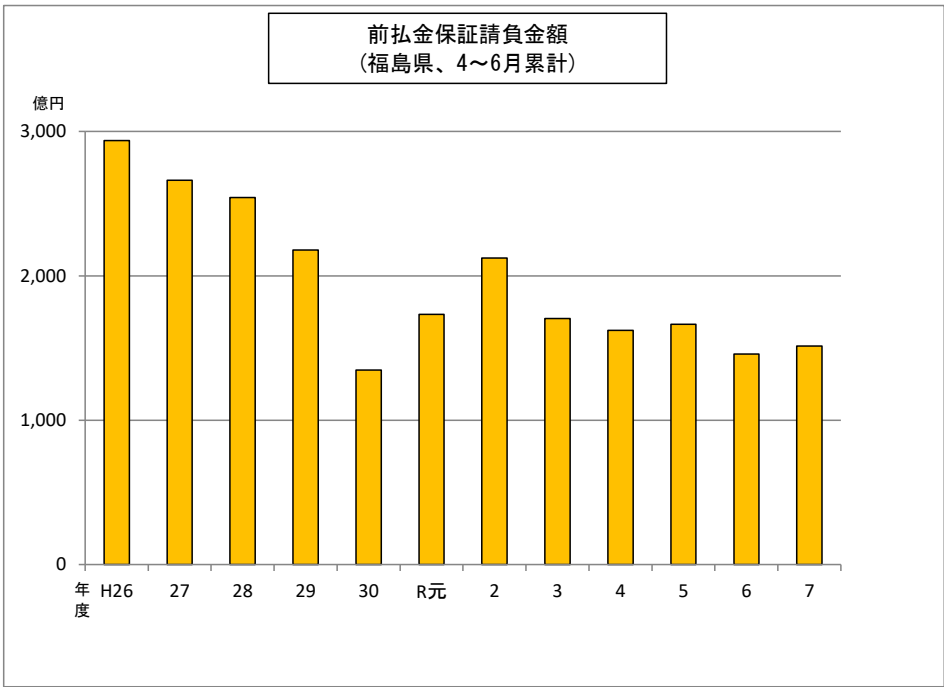
9. その他項目

(1) 公共事業

公共工事前払金保証請負金額(累計)で見ると、前年度を上回っている

前払金保証請負金額 (福島県、4～6月累計)			
区 分		前 払 金 保 証 請 負 金 額	
		億 円	前 年 同 期 比 %
26	年度	2,937	38.3
27	年度	2,662	▲ 9.4
28	年度	2,541	▲ 4.6
29	年度	2,179	▲ 14.2
30	年度	1,348	▲ 38.1
元	年度	1,732	28.4
2	年度	2,123	22.6
3	年度	1,703	▲ 19.8
4	年度	1,621	▲ 4.8
5	年度	1,665	2.7
6	年度	1,457	▲ 12.5
7	年度	1,514	3.9

(注) 国、独立行政法人等、県、市町村等の合計。
〔東日本建設業保証(株)ほか〕

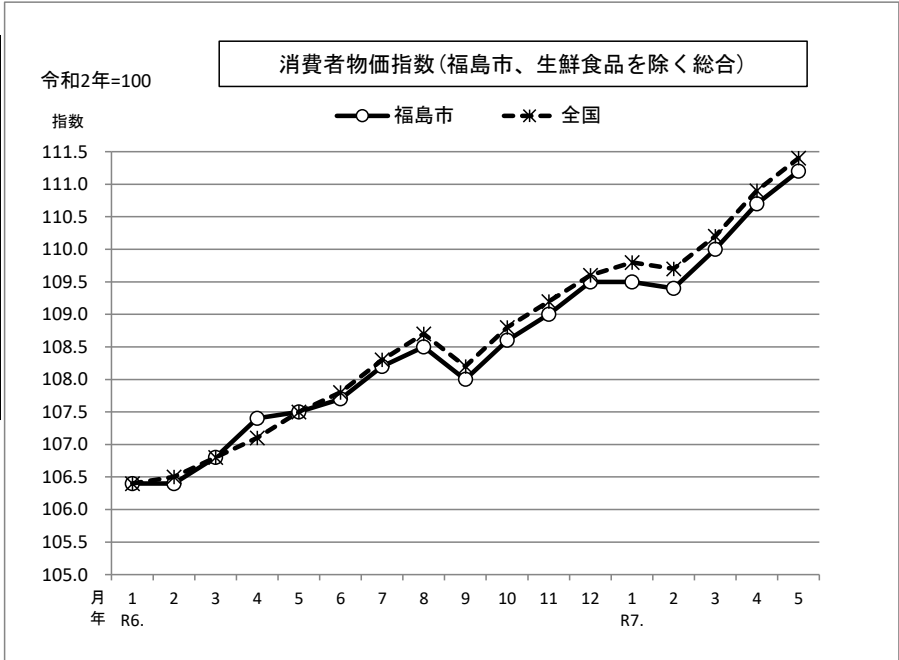


(2) 消費者物価指数

消費者物価(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている

消費者物価 (令和2年=100)			
区 分		福 島 市 生 鮮 食 品 を 除 く 総 合	
		指 数	前 年 比 %
6	年	107.8	2.4
6.	4-6	107.5	2.8
	7-9	108.2	2.1
	10-12	109.0	2.3
7.	1-3	109.6	2.9
7.	1	109.5	2.9
	2	109.4	2.8
	3	110.0	3.0
	4	110.7	3.0
	5	111.2	3.4

〔総務省〕



(3) 金融状況

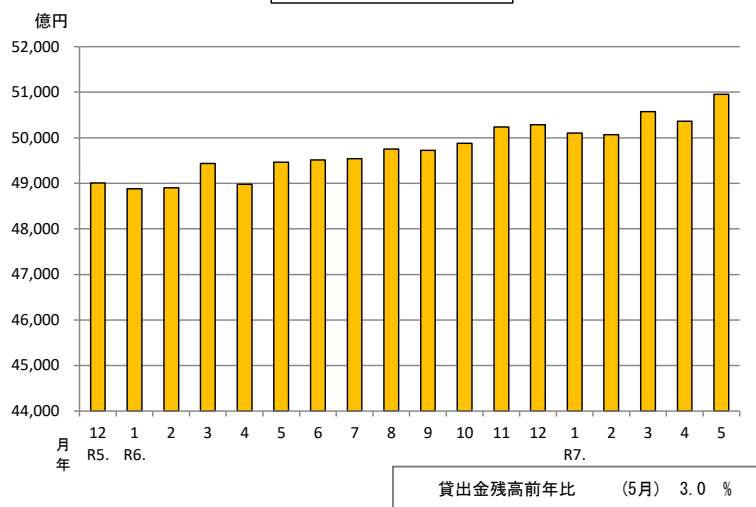
県内民間金融機関の貸出金残高でみると、前年を上回っている

貸出金残高(福島県)

区 分		貸 出 金 月末残高(億円)
6.	10	49,876
	11	50,235
	12	50,284
7.	1	50,104
	2	50,068
	3	50,577
	4	50,363
	5	50,957

(注)13銀行(県内店舗分)、8信金(金店分)ベース
なお、銀行については、オフショア勘定及び
中央政府向け貸出を除く。
〔日本銀行福島支店〕

貸出金残高(福島県)



(4) 企業倒産

件数、負債総額とも前年を下回っている

区 分	件 数		負 債 総 額	
	件	前 年 比 %	百万円	前 年 比 %
6 年	122	52.5	17,048	26.0
6. 7-9	35	150.0	3,993	198.0
10-12	29	11.5	3,261	▲23.2
7. 1-3	29	▲3.3	2,556	▲45.8
4-6	24	▲14.3	4,529	▲10.8
7. 1	10	25.0	805	▲52.0
2	9	▲25.0	539	▲58.2
3	10	0.0	1,212	▲30.6
4	7	▲12.5	429	▲46.0
5	10	▲16.7	3,642	37.5
6	7	▲12.5	458	▲72.0

〔(株)東京商工リサーチ〕

企業倒産件数・負債総額(福島県)

